

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 9 月 13 日 (2012.9.13)

【公開番号】特開 2011-35780 (P2011-35780A)

【公開日】平成 23 年 2 月 17 日 (2011.2.17)

【年通号数】公開・登録公報 2011-007

【出願番号】特願 2009-181732 (P2009-181732)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/91 J

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 31 日 (2012.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を取得する撮像部と、

上記撮像部によって取得された画像を記録する記録部と、

上記記録部に記録された画像を当該撮像装置の外部の表示機器に送信する画像送信部と

、
上記記録部に記録された画像の中で送信が許可された画像のみを上記画像送信部によって上記表示機器に送信するように制御する制御部と、

を具備することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

上記記録部に記録された画像を表示する表示部をさらに具備し、

上記制御部は、当該撮像装置の動作モードが上記記録部に記録された画像を上記表示部に表示させるための画像再生モードの時且つ上記画像送信部による上記表示機器への画像の送信が可能となった場合に、上記記録部に記録された画像の中で送信が許可された画像のみを、上記画像送信部によって上記表示機器に送信するように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

上記記録部に記録された画像を表示する表示部をさらに具備し、

上記制御部は、当該撮像装置の動作モードが上記記録部に記録された画像を上記表示部に表示させるための画像再生モードの時且つ上記画像送信部による上記表示機器への画像の送信が可能となった場合に、上記記録部に記録された画像の中で上記表示部に表示中の画像を、上記送信が許可された画像として、上記画像送信部によって上記表示機器に送信するように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

上記制御部は、当該撮像装置の動作モードが上記記録部に記録された画像を上記表示部に表示させるための画像再生モードの時で且つ上記画像送信部による上記表示機器への画像の送信が可能となった場合に、上記撮像部を動作させて得られた画像を上記画像送信部により上記表示機器に送信するように制御するとともに、上記表示機器からの外部信号の受信に応じて、上記記録部に記録された画像の中で送信が許可された画像のみを上記画像送信部によって上記表示機器に送信するように制御することを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

上記制御部は、上記撮像部を動作させて得られた画像を上記画像送信部により上記表示機器に送信する際に、上記撮像部を動作させて得られた画像を加工してから上記画像送信部により上記表示機器に送信することを特徴とする請求項 4 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

上記制御部は、上記記録部に記録された画像の中で送信が許可された画像を、上記画像送信部によって上記表示機器に送信した後で、上記表示部の表示をオフすることを特徴とする請求項 2 乃至 5 の何れか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 7】

上記制御部は、上記表示機器の画面大きさが所定値以下の場合に、上記記録部に記録された画像の中で送信が許可された画像のみを上記画像送信部によって上記表示機器に送信するように制御すること特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 8】

当該撮像装置の振動を検知する振動検知部をさらに具備し、

上記制御部は、上記振動検知部により当該撮像装置の振動が検知されていない場合に、上記記録部に記録された画像の中で送信が許可された画像のみを上記画像送信部によって上記表示機器に送信するように制御すること特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 9】

上記制御部は、当該撮像装置の動作モードが上記記録部に記録された画像を上記表示部に表示させるための画像再生モードの時で且つ上記画像送信部による上記表示機器への画像の送信が可能となった場合に、上記記録部に記録された画像を示すサムネイル画像を上記画像送信部によって上記表示機器に送信するように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 10】

上記制御部は、当該撮像装置の動作モードが上記記録部に記録された画像を上記表示部に表示させるための画像再生モードの時で且つ上記画像送信部による上記表示機器への画像の送信が可能となった場合に、上記記録部に記録された画像の記録日時及び記録時間を示す画像を上記画像送信部によって上記表示機器に送信するように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記の目的を達成するために、本発明の第 1 の態様の撮像装置は、画像を取得する撮像部と、上記撮像部によって取得された画像を記録する記録部と、上記記録部に記録された画像を当該撮像装置の外部の表示機器に送信する画像送信部と、上記記録部に記録された画像の中で送信が許可された画像のみを上記画像送信部によって上記表示機器に送信するように制御する制御部とを具備することを特徴とする。